

(イ) 最近に於ける右翼陣営の顕著なる動きは、右翼組合の幹部が社会愛護主義の色彩を極度に濃厚にしたことと、所謂中間派組合(全労協、総聯合、共)の幹部が、露骨に右翼化の傾向を示して来たことである。

(ロ) だが、大右翼の結成はまだ出来上つてゐない。けまりと云ふは、幾つかの流が合流してゐる。無論、それら同一方向に向つて流れる、ある幾つかの流は、やがて合流するに至るやあらうが、現在では、幾つかの幹部団が互にその陣営内に於ける指導権を握らうとして相争つてゐる。

(ハ) それの具體的現狀が、いま、国際労働会議の代表権争奪となつて現はれてゐる。總同盟、總聯合、全労協、共の幹部が、各員組合を圍つて互に暗手を競はつて、あることは余りにも顕著の事實だ。

(ニ) だが、夫配階級が巧みなる陰謀は、やがて大右翼の結成を成就せしめるに至るやあらう。見よ、ヤキト、国際的裏切者アルベール・トールを招聘したアルジョア政府は今やまた、国際労働会議の書記長メンデルスを招聘しようとしてゐるのである。それが何を意味してゐるかは余れにも明瞭ではないが、

(ホ) 右翼幹部の愈々露骨なる反動化にも拘らず、一般組合員大衆は、未だ反動化してはゐない。無論、幹部をケトびして、小ほと意識的に左翼化してはゐないが、今後左翼陣営が確立されるに至れば、漸らゆる政

治的・経済的・カンパニア上を差して、右翼中間派組合の大衆と猛烈な共同斗争を取行し得る可能性は充分に在る。

## 第二部 總評議會の任務

### (一) 總評議會の一般的任務

(イ) 上述の如き階級的狀態の中に新たに左翼労働組合の聯合体として結成されたものは、總評議會の一般的任務は、その編領の中に明示されてゐる。

(ロ) 總評議會が一切の労働者大衆の労働条件を維持改善するために手ふき力であることは言ふまでもない。従来、各々単独組合の力で手は出来なかつた一切の経済斗争は、今後は、全国的に統一された聯合体の力によつて強力に手はれるに至るやあらう。

(ハ) 現在の如く、資本家の組織が組織組織されてゐる場合、労働者あつちの経済斗争は、總協力の組織に組織されたる強力な全国的組織によつて手はれることになくしては、各々の利益を得ることには出来なない。その意味に於て、我が總評議會は、不斷にセネストの計畫をたじ、果敢にそれを行はせると云ふの大任務を担つてゐる。したがつてまた、